

課題

「わが国の金融・経済への提言、日銀への提案」

わが国の金融・経済の現状評価と未来への提言を求めます。特に、日本銀行の政策や業務に関連のある提案は歓迎します。

考えられるテーマの例(具体的なテーマの設定は自由です)

- 日本銀行の政策や業務をより効果的に行うための提案
- 金融・経済・物価動向、金融システムの現状をよりの確に把握するためのデータ・分析手法の提案
- 若年層の金融リテラシー向上策の提案
- 日本経済の成長力向上や地域経済の活性化につながる新たな金融サービスの提言
- 資金決済をより効率的かつ安全にするための提案

募集要項

詳細は日銀グランプリWebページをご覧ください。
主催者の都合により運営方法を変更する場合もこちらでお知らせします。

応募資格

現在、大学(短大等を含む)に在籍の方(大学院生は除く)。2~4名1組のグループでご応募ください。

授賞内容

最優秀賞/1チーム(副賞:図書カード15万円分)

優秀賞/3チーム(副賞:図書カード3万円分)

特別賞[日本銀行の政策や業務に特に関連のある提案に対する賞]/1チーム(副賞:図書カード3万円分)

これらのほかに、予選で奨励賞を選出します。

応募締切

2026年9月30日(水) 必着

応募形式

上記の「課題」を踏まえてテーマを設定のうえ、日銀グランプリWebページに掲載の応募用フォームを用いて小論文をご応募ください。

応募後の日程

予選

【小論文】

大会事務局による小論文の審査により、決勝進出チーム(4チーム)を選出します。

ポイント①=現状の把握・分析的確性

ポイント②=論旨および提言の論理性・説得性

ポイント③=着眼点や提言の独創性・実効性

決勝

【小論文の報告・質疑応答】

2026年11月下旬にプレス公開で日本銀行本店(東京都中央区)にて決勝大会を開催します。小論文の報告(15分)および審査員との質疑応答(15分)を実施のうえ、各賞を決定します。会場までの国内交通費等は日本銀行が負担します。

ポイント④=報告および質疑に対する応答の内容

審査員

日本銀行政策委員会メンバーおよび日本銀行外部の有識者、計5名を予定。審査員長は日本銀行副総裁を予定。

注意事項

- 入賞した小論文および報告資料の著作権は日本銀行に帰属します。
- 入賞した小論文(含む応募者の氏名、大学・学部名)、報告資料および決勝の様相(写真・動画)を日銀グランプリWebページ等に掲載するなど広報目的で利用しますので、予めご了承ください。
- 応募は未発表のものに限ります。また、二重投稿はご遠慮ください。
- 生成AIを利用して作成した文章での応募はご遠慮ください。
- 日銀グランプリWebページに掲載の応募用フォーム内「応募に際しての確認事項」と、小論文作成上の留意点をお読みいただいたうえでご応募ください。

お問い合わせ先

情報サービス局日銀グランプリ運営事務局 E-mail:post.prd3@boj.or.jp
日銀グランプリWeb ページ https://www.boj.or.jp/about/nichigin_gp/index.htm

